

6年生の保護者のみなさまへ

河内長野市立加賀田小学校
校長 寺垣 真二

令和6年度 全国学力・学習状況調査及びすくすくウオッチの結果について

秋冷の候、保護者のみなさま方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、本校の教育活動の推進にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、4月18日に実施しました全国学力・学習状況調査及び4月23日に実施しましたすくすくウオッチの結果について、学力・生活面から分析した学校全体としての概要をまとめました。本日、担任からお子さまには個々の学習状況を示した「個票」を配付しております。ぜひ、ご一読いただき、お子さまの学習の状況、課題などについてご確認ください。

1. 調査に関する学校の基本的な考え方

全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況の把握・分析を行い、教育施策の成果と課題の検証及びその改善を図ること、また学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを通じて教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的としています。

またすくすくウオッチは、子どもたちに各教科の学力に加え、ことばの力や文章、情報を読み取り考える力、様々な情報を活用する力、そして「見えない学力」と言われるねばり強さや好奇心などを育む、大阪府としての取り組みです。これらをふまえて、本校では、次に挙げるような成果が期待されると考えております。

- 子どもたちは、それぞれの学習の到達状況を知ることで学習意欲を高め、自ら目標を持って今後の学習の改善や励みとする。
- 自校の状況をより詳細に分析することで、子どもたちの確かな学力及び教員の指導力・授業力の向上につなげる。

2. 調査結果の取り扱い

- 本調査により測定できるのは、学力の限られた一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。すべての学力を捉えられているものではないことに十分留意して取り扱うことが必要です。
- 学校は、「子どもにどのような力がついてきたのか」「学校がどのような教育を進めているのか」「子どもの学習状況や生活習慣等にどのような良い点・課題があるのか」など、一人ひとりの学力向上の取り組みの改善とともに、学校における課題を整理して、課題改善する取り組みを進めていきます。

3. 調査結果についてお願い

- 学習への意欲は、子どもの自尊感情と大きな関係があります。友だちやきょうだいと比較することは、意欲を低下させる場合があります。今回の結果からお子様の伸びや課題を知り、まずはお子様の良いところを褒めてください。その上で、課題について頑張って克服できるよう励ましてあげてください。そのことがお子様の学習意欲を高めることにつながります。
- 学力の向上は学校が主にその役割を担いますが、各家庭におかれましても、今回の結果を子どもたちの基本的な生活習慣の見直しや今後の家庭学習の進め方等の参考にさせていただきますようよろしくお願いいたします。
- 調査結果のうち、正答率については、調査に参加した子ども並びに保護者の方にのみ提供しているものです。学校間の序列化や過度な競争につながらないよう、その取り扱いについては、十分にご留意いただきますようお願いいたします。

4. 学力調査・すくすくウオッチの概要

(1) 6年 学力・学習状況調査

国語

特に成果が見られた問題例

全体的に全国・府より正答率が高かった。

◆問題番号1三 問題番号2一(1)

「目的や意図に応じて、集めた資料を分類したり関係づけたりして伝える内容を考える」問題は、正答率が高かった。

◆問題番号3三

「人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする」問題の正答率も高く、読書時間を意図的・継続的に増やしたことや、物語文の授業において、登場人物の気持ちや表現の工夫について考えることに重点をおいた学習の成果だと考えられる。

特に課題が見られた問題例

言葉の特徴や使い方に関する事項の知識・技能に課題がみられた。

◆問題番号2三ア 問題番号2三イ

「学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を文の中で正しく使うこと」ができておらず、KKタイムでの漢字学習に継続して取り組む必要がある。

◆問題番号1二(1)

「話し言葉と書き言葉との違いに気付く」問題の正答率が低く、話し言葉の特徴を踏まえ言葉の順序に気を付けて短い文に区切った話し方に書き換えることや話し方の工夫について理解できていないことがわかった。ことばのちからを活用する等、年間を通して言葉の使い方や話し方を意識した指導をすることが大切である。

算数

特に成果が見られた問題例

図形に関する問題は正答率が高かった。

◆問題番号3(1) 問題番号3(2)

「直方体の見取り図」や「直径・円周の長さや円周率の関係」の問題は、正答率が高かった。図や形をイメージできるよう、具体物を提示したり、実物にふれたりする体験的な学習の機会を授業の中で意識して取り入れた成果だと考えられる。

特に課題が見られた問題例

「数と計算」や「変化と関係」の領域の問題に課題がみられた。また、問題の意味や場面を十分理解しないで回答している傾向があり、2つ問いがあるのに1つしか答えていないなど条件に合った記述ができていなかった。

◆問題番号4(1)

「わる数が小数の除法の計算」の正答率が低く、数の大きさをつかむことや量感に課題がみられた。

◆問題番号3(3)

「立方体の体積を求める」問題は、情報をうまく活用できておらず、縦・横・高さの長さが球の直径になることに気づいていなかった。

◆問題番号4(3)

「道のりが等しい場合の速さ」の問題では、与えられている数量を基にして、同じ道のりなら時間が短い方が速いということが説明できていなかった。授業の中で、図や言葉を使って、最後まで説明する

(2) 6年 すくすくウオッチ

理科

特に成果が見られた問題例

◆問題番号1(2) 1(5)

「日光の集め方で温かさが変化することを理解する」や「昆虫の育ち方の順序と名称を理解する」問題は正答率が高く、実際に紙を燃やす実験やチョウを飼育し成長を観察するなど、児童が楽しみながら学習し理解を深めることができたと考ええる。

特に課題が見られた問題例

◆問題番号2(3)② 1(4)

「電磁石を強くする方法について書き表す」や「水が蒸発して水蒸気になる現象を書き表す」問題は正答率が低かった。実験や観察をする過程で、理科で扱う用語を正しく指導するとともに、その用語を使って、予想・結果・考察を整理して書く活動を取り入れていく必要がある。

教科横断的な問題わくわく問題

特に成果が見られた問題例

図や表の内容と関連付けて、自分の考えたことを伝える問題は、府より正答率は高く、また、意欲的に伝えようとする姿勢が見られた。

特に課題が見られた問題例

会話から読み取って問題をとらえることに課題がみられた。また、複数の資料を読み取り、情報を整理して記述して答える問題にも課題が見られた。

(3) 5年 すくすくウオッチ

国語

特に成果が見られた問題例

◆問題番号7(2)

「文を正しく理解し、指示語の指示内容をとらえる」問題は正答率が高く、日常的に使う語句や指示語は理解できていた。

特に課題が見られた問題例

◆問題番号6 10

「言葉の意味を正しく理解し、その反対の意味を表す言葉を理解する」問題の正答率が低かった。また、「文と文の意味のつながりを考えながら、接続表現を使って一文で書く」問題においても、正答率が低く、無回答率が高かった。日々の授業や家庭学習で文を書くことや読むことに重点的に取り組んだり、国語辞典を使って言葉の意味を調べたりする活動を取り入れる必要がある。また、音読や読書を通して、多くの文章にふれる機会を作ることも必要であると考ええる。

算数

特に成果が見られた問題例

◆問題番号1(3) 2(1)

「図形の面積の求め方を説明する」「数量の関係を□と△で式に表す」問題は、府より正答率が高かった。

特に課題が見られた問題例

◆問題番号1(4)

「円と長方形に着目し、その違いをもとにして説明する」問題は、正答率が低かった。決められた表現や条件に合わせて回答することに課題がみられた。教科書の例をもとにして記述で説明する活動を授業の中で取り組む必要がある。

特に成果が見られた問題例

大阪府の正答率よりも上回っているものが多く見られた。

◆問題番号1(2) 2(2)

「日光の集め方であたかさが変化すること」や「磁石の引き付ける力と対象物との距離の関係」を理解する問題は、正答率が高かった。日々の授業で、実験や観察を重視し、「なぜ」に着目して理由を問い返したり、ふりかえりをしたりしていることの成果だと考えられる。

特に課題が見られた問題例

◆問題番号1(1) 2(6)

「太陽の沈む方角について理解する」や「方位磁針の性質から地球の磁場について考える」問題は正答率が低かった。理科だけでなく、社会科など他の教科においても、方位や方角についてふれる機会が必要である。

◆問題番号1(5) 2(3)

「昆虫の育ち方や名称について理解する」や「棒磁石の性質を理解する」問題は、正答率が低かった。実験や観察を通してわかったことをまとめる活動を取り入れるなど、しくみや性質についての理解を定着させる必要がある。

教科横断的な問題わくわく問題**特に成果が見られた問題例**

文章を読んで視覚的なイメージをとらえ、図や表、グラフ、文章や会話文等の内容を関連付けて正しくとらえる問題は、正答率が高かった。

特に課題が見られた問題例

問題文が長く情報量が多い問題など、図や表などの複数の資料を読み取り、それに基づいて論理的に考えることに課題が見られた。

5. 児童質問紙から見る学習・生活状況等のようす

(1) 6年 全国学力・学習状況調査の児童質問紙より

1:当てはまる 2:どちらかといえば当てはまる 3:どちらかといえば当てはまらない 4:当てはまらない

○特に成果が見られたアンケート項目

「毎日、同じぐらいの時刻に寝ていますか。」
(質問番号2)

「毎日、同じぐらいの時刻に起きていますか。」
(質問番号3)

	1	2	3	4
加小	60.0	37.1	2.9	0
大阪府	44.4	39.0	13.0	3.5
全国	39.7	43.2	14.2	2.8

	1	2	3	4
加小	65.7	31.4	2.9	0
大阪府	58.5	32.3	7.4	1.8
全国	56.1	35.5	7.1	1.3

「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うことについて、友達と協力しながら学習を進めることができる。」(質問番号 28-7)

	1	2	3	4
加小	42.9	51.4	5.7	0
大阪府	43.0	42.1	11.0	3.8
全国	46.2	40.9	10.2	2.7



●特に課題が見られたアンケート項目

「学校が休みの日に1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか。」(質問番号 22)

	1	2	3	4	5	6
加小	2.9	2.9	8.6	22.9	37.1	25.7
大阪府	8.6	4.1	8.3	20.3	33.6	25.0
全国	7.6	4.3	9.9	27.1	36.2	15.1

1 : 4 時間以上	2 : 3 時間以上
3 : 2 時間以上	4 : 1 時間以上
5 : 1 時間以下	6 : 全くしない

「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」(質問番号 38)

	1	2	3	4
加小	31.4	34.3	31.4	2.9
大阪府	34.4	44.6	16.1	4.7
全国	36.5	44.8	15.4	3.3

「英語の勉強は好きですか」(質問番号61)

	1	2	3	4
加小	20.0	34.3	25.7	20.0
大阪府	39.5	28.5	16.9	15.0
全国	38.2	31.1	17.9	12.7

特に成果が見られた項目

国語・算数とも、「最後まで解答を書こうと努力した」と回答した児童の割合が高く、最後まであきらめずに取り組む姿勢が見られた。

2「毎日同じぐらいの時刻に寝ていますか」と3「毎日同じぐらいの時刻に起きていますか」では、全国・府より肯定的回答が高く、規則正しい生活を心がけていることがうかがえる。

28-7「ICT 機器を活用して、友だちと協力しながら学習を進めることができる」では、9割以上の児童がそう思うと回答しており、端末を活用した協働的な学びができていると思われる。

課題が見られた項目

38「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する学習活動に取り組んだ」の肯定的回答が低く、総合的な学習の時間の取り組み内容を見直し、探究的な学習活動を増やしていく必要がある。

英語の勉強は大切だと感じている児童の割合が高い一方、61「英語の勉強は好きですか」の肯定的回答が低く、苦手と感じている児童の割合が高い結果となっている。NETとの連携を含め、英語で伝えたり書いたりすることが楽しいと感じる授業の工夫が必要である。

22「学校が休みの日に1日当たりどれぐらいの時間勉強しますか」では、全国・府より勉強時間が少ないことがわかった。

(2) 5年 すくすくウオッチ児童アンケートより

○特に強みが見られたアンケート項目

1:あてはまる 2:ややあてはまる 3:どちらともいえない 4:ややあてはまらない 5:あてはまらない

「誰もやったことのない物事にとっても興味がある」
(質問番号23)

	1	2	3	4	5
加小	57.1	31.4	5.7	2.9	2.9
大阪府	49.8	23.9	16.5	4.8	4.9

「先生はあなたのよいところを認めてくれる」
(質問番号 28)

	1	2	3	4
加小	60.0	40.0	0	0
大阪府	55.2	36.5	5.8	2.2

「学級会では自分たちで意見を出し合って、ものごとを決めている」(質問番号23)

	1	2	3	4	5
加小	48.6	40.0	2.9	0	5.7
大阪府	49.3	30.2	17.0	1.7	1.5

「わからないことや知りたいことがあったとき、本やインターネット等で調べている」
(質問番号 42)

	1	2	3	4
加小	51.4	37.1	5.7	5.7
大阪府	44.3	33.4	14.6	7.4

●特に課題が見られたアンケート項目

1:あてはまる 2:どちらかといえばあてはまる 3:どちらかといえばあてはまらない 4:あてはまらない

「友だちと協力するのは楽しい」(質問番号3)

	1	2	3	4
加小	68.6	17.1	11.4	0
大阪府	74.1	21.4	3.0	1.1

「その時間に学んだことについて、ふりかえりをしている」(質問番号41)

	1	2	3	4
加小	25.7	42.9	22.9	8.6
大阪府	35.5	40.3	17.3	6.6

「ふだん1日に(授業や宿題以外で)どれぐらいの時間勉強しますか」(質問番号 68)

	1	2	3	4	5	6
加小	20.0	5.7	17.1	28.6	28.6	0
大阪府	13.8	12.0	21.0	22.3	16.4	14.4

1 : 3時間以上 2 : 2時間以上
3 : 1時間以上 4 : 30分以上
5 : 30分以下 6 : 全くしない

「ふだん1日にどれぐらいの時間本を読みますか」
(質問番号70)

	1	2	3	4	5	6
加小	2.9	14.3	14.3	14.3	34.3	20.0
大阪府	10.2	11.1	19.0	21.3	17.4	21.0

1 : 2時間以上 2 : 1時間以上
3 : 30分以上 4 : 10分以上
5 : 10分以下 6 : 全くしない

強みが見られた項目

28「先生はあなたのように認めてくれる」や39「学級会では自分たちで意見を出し合っ、ものごとを決めている」の肯定的な回答が高く、ほめることや認めることを意識して関わることで、児童の自主性につながっていると考える。

また、23「誰もやったことのない物事にとっても興味がある」や42「わからないことや知りたいことがあったとき、本やインターネット等で調べている」の肯定的回答が府より高く、興味関心をもって主体的に取り組もうとする態度が感じられた。

課題が見られた項目

友だちとの関わりに関する項目に課題が多く見られた。特に、3「友だちと協力するのは楽しい」や12「まわりに困っている人がいると、早く解決するといいなあと思う」、34「あなたの学級は協力的である」は、肯定的回答が府より低く、自分の意見は積極的に主張できるが、他者を理解しつなろうとする態度に課題が見られた。

また、41「その時間に学んだことについて、ふりかえりをしている」についても、肯定的回答が府より低かった。

加えて、68「ふだん1日に(授業や宿題以外で)どれぐらいの時間勉強しますか」や70「ふだん1日にどれぐらいの時間本を読みますか」では、府より少ない時間しか取り組めていないことがわかった。

6. 調査結果を受けて

(1) 学校が重点的に取り組んでいくこと

① 読書活動の充実に取り組めます

- 朝読・昼読、読書月間など、学校での読書時間を設定します。
- 調べ学習の際に、学校の図書室や市立図書館の書籍を活用します。
- 図書の時間を充実させ、読書の楽しさを感じることができるようになります。

② 書く活動を意識して取り入れます

- 日記・作文指導に取り組めます。
- 「ことばのちから」などを活用し、ことばの学習に取り組めます。
- 視写に取り組み、よい文章表現を学べる機会を作ります。

③ 基礎基本の定着を図ります

- 朝のKKタイムでの漢字計算学習の内容を見直し、子どもたちの苦手を克服できるようにします。
- その日に学習したことを復習できるよう、家庭学習の内容を見直します。

④ 授業の中で自分の考えを整理して書く活動を取り入れます

- 1人で課題にねばり強く向き合う時間(自力解決)を設定した授業づくりに取り組めます。
- 学習した内容をふりかえる時間を設定し、学んだことや気づいたことを自分の言葉で表現できるようにします。
- 生活・総合での調べ学習やまとめ学習において、体験や聞き取り、資料から分かったことを整理して書く活動を取り入れます。

(2) 児童のみなさんに取り組んでほしいこと

- 授業や自主勉強では、自分の考え方や授業のふりかえりを書くなど、ノートづくりの工夫をしましょう。
- 自分の考えや意見は、理由をつけて丁寧な言葉で伝えることができるようにしましょう。
- 授業やテストで分からなかったところはそのままにしないで、やり直して最後までいい取り組みましょう。

- 読書活動に積極的に取り組みましょう。読みたい本をそばに置き、空いた時間に読書をする習慣を身につけましょう。
- 地域や社会に関心を持ち、「知りたいな」「やってみたいな」と感じた行事等に積極的に参加しましょう。

(3)保護者のみなさまに協力していただきたいこと

- 起床、朝食、夕食、テレビやインターネット等の視聴時間や就寝時刻等、規則正しい生活を心がけ、子どもたちが毎日元気に登校できるようにしてください。
- オンラインゲームやタブレット、スマートフォン（動画サイト、SNS等）については、時間管理だけでなく、使用の仕方や危険性についても十分に話し合っ、ルールを設定し、それを守るようにご指導ください。
- 子どもが話したいことを自分の言葉で伝えることができるよう、お子さまの話を最後まで丁寧に聞いてあげてください。
- 家庭学習の時間を大切に、子どもたちが自ら学習に向かうことができるよう、予習復習の計画や内容についてのアドバイスをお願いします。
- お家で一緒に本を読んだり、音読練習を聞いたりするなど、子どもたちが本のよさを感じながら、読書活動に取り組めるようにしてください。